

広島県感染症発生動向週報

〔広島県感染症予防研究調査会〕

1 五類定点疾患週報情報

平成26年第38週(9月15日～9月21日)

No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号	No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号
1	インフルエンザ ※2	7	0.06	0.35		11	ヘルパンギーナ	28	0.39	0.45	↓
2	RSウイルス感染症	133	1.85	0.85	→	12	流行性耳下腺炎	37	0.51	0.61	↗
3	咽頭結膜熱	22	0.31	0.53	→	13	急性出血性結膜炎	1	0.05	0.03	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	74	1.03	0.64	→	14	流行性角結膜炎	18	0.95	1.39	↗
5	感染性胃腸炎	253	3.51	2.74	↘	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
6	水痘	47	0.65	0.55	↘	16	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.08	
7	手足口病	42	0.58	0.84	↘	17	マイコプラズマ肺炎	2	0.10	0.19	
8	伝染性紅斑	2	0.03	0.04		18	クラミジア肺炎 ※3	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	31	0.43	0.45	↘	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス) ※4	0	0.00	-	
10	百日咳	3	0.04	0.06		<small>※1 過去5年間の同時期平均(定点当り) ※2 鳥インフルエンザを除く。 ※3 オウム病を除く。 ※4 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年第42週から報告が始まりました。</small>					

	内科定点	小児科定点	眼科定点	基幹定点
疾患No.	1	1～12	13,14	15～19
定点数	43	72	19	21

発生記号(前週と比較)

急増減	↑	↓	1 : 2 以上の増減
増減	↗	↘	1 : 1.5 ~ 2 の増減
微増減	↗	↘	1 : 1.1 ~ 1.5 の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

対象疾患名	警報開始基準	警報継続基準	注意報開始基準	県内の発令状況	保健所別の流行状況 (定点当たり)						
					西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
咽頭結膜熱	3	1	-	警報発令中 (H25.6.14 発令)	0.00	1.83	0.00	0.75	0.25	0.00	0.18

注)原則として、警報・注意報は県内いずれかの保健所管内で開始基準以上となった場合に発令し、すべての管内で継続基準未満となった場合に解除します。

● ヘルパンギーナ警報を平成26年7月10日に発令しておりましたが、第38週の報告患者数が県内すべての保健所管内で警報継続基準値(定点当たり2)未満となりました。このことから、県内のヘルパンギーナの流行は終息に向かっていると考えられるため、平成26年9月25日に警報を解除しました。

【急増減疾患(前週比2倍以上増減)】

- 急増疾患 なし
- 急減疾患 ヘルパンギーナ(73件 → 28件)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	10	結核	10	2		2	2	1	3	
三類	1	腸チフス	1							1
四類	4	日本紅斑熱	3			1			1	1
		レジオネラ症	1							1
五類	0	発生なし	0							

注) 西部 … 大竹市, 廿日市市, 安芸高田市, 安芸郡, 山県郡, 江田島市
 東部 … 三原市, 尾道市, 世羅郡, 府中市, 神石郡

西部東 … 竹原市, 東広島市, 豊田郡
 北部 … 三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>